

準備

食事環境を整え、健康・衛生点検を行う

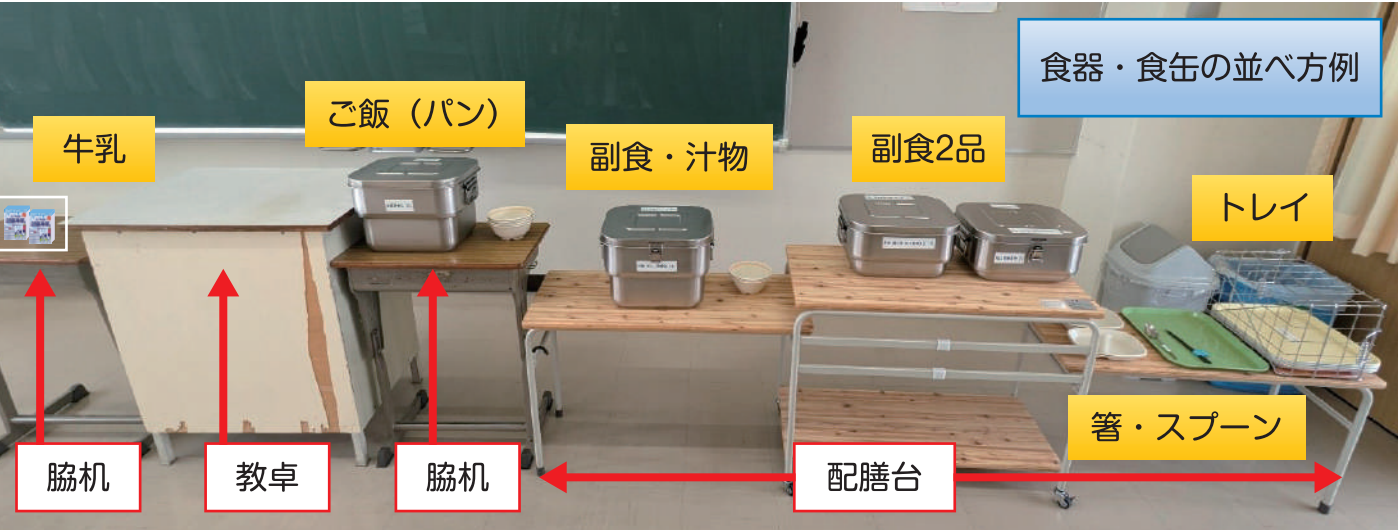


- 全員が手に石けんをつけて丁寧に洗う。
- 給食当番以外の人は配膳に使う台を水拭きし、清潔に配食・配膳ができるようにする。
- 給食当番以外の人は机の上をきれいに片付け、衛生を保つ。
- 給食当番以外は自席で過ごす。
- 給食当番は健康・衛生点検を行い、下痢・発熱・腹痛・嘔吐等の場合、交代させる。
- 給食当番と配食・配膳等に携わる教職員は給食服・帽子・マスクを正しく着用する。

安全に運ぶ



- 運搬時、返却時ともに、食器かごや食缶等は、床に直接置かない。
- 給食当番の並び方は配膳室の中でスムーズに運搬できる順にする。
- 給食当番は教室前から並んで、決められた経路を通るようにする。
- 給食や食器具類を落とした場合は、各クラスや職員室の余りを該当クラスへ集める。
食器具類の余りを集めても不足する場合は、配膳室で洗浄・消毒する。
- 給食をこぼした場合、食物アレルギー対応が必要な生徒が原因食物に触れないよう、配慮する。
(例：原因食物が生徒の腕・服・持ち物等にかかってしまった場合、洗い流したり、拭く等して、原因食物に触れることがないよう適切な対応をとる。)



適切に配膳し、あいさつをする



- 大型モニターに、給食カレンダーを映す。
- 食物アレルギー対応が必要な生徒は、個人献立表をもとに一番初めに配膳する。
- 給食カレンダーの献立写真で一人分の適正量を確認し、配食する。
- 食物アレルギー対応が必要な生徒は、食べる前に正しく配膳されているかを個人献立表で担任等と必ず確認する。
- 異物混入を発見した場合、給食を一時停止し、すみやかに管理職に報告する。
- 「いただきます」のあいさつをする。

会食・喫食

給食を生きた教材として活用する



- 生徒と共に食事をし、よりよい人間関係を育てる。
- 給食カレンダーを確認して、その日の献立のねらいを知らせる。
- 並べ方、食器やはしの持ち方、姿勢など基本的なマナーを身につけさせる。

○ 食べる姿勢

- ・良い姿勢で食べる。

○ 食べ方

- ・食器を持って食べる。
- ・主食とおかずは交互に食べる。
- ・パンはちぎって食べる。
(窒息事故防止・異物発見)
- ・よくかんで食べる。

○ 注意すること

- ・食べている時に、ふさわしい話題や声の大きさに気を付ける。
- ・はし・スプーン・食器・食缶などは大切に扱う。
(傷が付いたり割れたりすることがある)

ひじ、こし、ひざが90度になるといいよ

口に食べ物を
入れたまま
話をしない

食べている途中で
立って歩かない

あいさつをして、みんなで協力して片付ける



- 「ごちそうさまでした」のあいさつをする。
- 返却時、汁物や牛乳などがこぼれないように注意する。
- 食器の中に残っている食べ物は、元の食缶・元の袋に戻す。
- スプーン等はトレイに乗せる。
- 牛乳パックをたたみ、パック・ストロー・ストローの袋に分別し、袋に入れる。
- 牛乳の飲み残しは飲み口をテープでとめ、食器具類と一緒にトレイに乗せる。
- 未開封の牛乳はそのまま配膳室へ返却する。
- ※給食はすべて配膳室へ返却し、持ち帰らない。

別紙「給食の後片付け」
(詳細版)を参照

片付け